

2 - 4 . 事業者アンケート結果 (自由回答)

問2 テニス事業者としてできる社会貢献「その他」の具体的内容

イベント等によるコート利用 (試合等)
セットボールの無償提供
地域のニーズに対応するサービスの提供。但し、有料。
学校の部活動指導者 (先生) への指導。
宿舍の設備としてのコートなので、難しい面がある。
ロストボールを小学校にあげる。
年配者へ運動をすすめた。
毎日地域住民に対し、コーチ料無料レッスンを行っている。(但し、コート使用料 2 時間何人で受けても 3000 円)
地域障害者作業所のバザー等へ会場提供、障害者クラス設置 2 レッスン / Week
底辺の子供たちの出場できるトーナメントの開催。
地域地図、回覧板広告の広告料支払い。
中学校の部活動の指導援助。
大学生、小中学生のテニス合宿
中学校等での体験学習への参加
中学、高校生の特にテニス体育大会に (県大会も含む) で出場者で上位入賞者の情熱あるプレーヤーが数少ないが来ているのに教えている。(以前は社会人、学生等、多くに利用願ったが、今は少なく上記の通り)
日本人の健康体力、精神力の向上、情操の豊実。
テニスイベント (協会主催も含む) の開催、地域交流。
車いすテニス指導、大会協力
人口、家屋過密防止
その他テニスイベントへの指導者の派遣
地域テニス協会との連携・協力
試合等でのストリングングサービス。
ボランティア活動等を通して、社会貢献の場を提供すること。
イベント開催時にチャリティーバザー等を開き、ユニセフに寄付活動を毎年行っている。
大会時無料貸し出し
現在都立国分寺高校が校舎建て替えのためにグラウンド、テニスコート等がないため、最も近い当クラブのコートを格安にて貸している。(硬式テニス、軟式テニスの部活動)
月に一度ハンディキャップテニスを開催。
高校生の大会の前にコート無料練習コートとして開放。
スポーツイベントに会場として提供 (有、無料)
地元小学校には指導者を送り、テニス普及のため毎月第 2 土曜日、ショートテニス教室を行っている。
住宅地域の環境整備。近隣に喜ばれている。
テニスイベントへの人材派遣。
耳障害者の為にボールの寄付
上記 1, 2 の件で有料であれば可能である。(多少安くても)

市民テニス教室に対する協力。
用具の貸出・提供。
車イステニス等、障害者スポーツに対する協力。
ジュニアトーナメントを開催している。
健康増進に貢献。
地域テニス協会とタイアップしての普及活動。
中学部活の手伝い、用具（中古）の提供。

問7 学校のテニス部活動を支援したきっかけ「その他」の具体的な内容

学生達の要望
テニスショップも同時経営しているから。
学校指導者の知識不足。 1年生対策。
テニス部の先生からの要請があり、学校の承諾を得て。
学校のOB
学校に施設がないため顧問として設置。
ボランティアスタッフとしての協力から
地元であり、OBだから。
テニスショップも経営しているため。
指導者が自身がOBであるから。
生徒に働きかけて実施。
阪東和テニス事業協会から大阪府中体連に働きかけた。
OBから頼まれ
顧問の先生からの要請
テニス部の子がうちのスクールに来たのがきっかけで、週一回でもきてほしいということで。
OBとして指導し始めた。
指導者からのお願い。
物販の促進。
社会貢献として、中学テニスにかかわりたいため。ジュニア普及等。

問8 学校のテニス部活動を支援した理由「その他」の具体的な内容

出身校への恩返し
学校の校庭が工事により使えなくなったため。
テニスの町として、ジュニアを育てたい。
メーカーのプロモーション。
部活動の顧問の先生の指導方法に疑問があるため。
テニス人口の増加のために。
学校に施設がないため顧問として設置。
2人の娘がお世話になり、立派に育成させてくれたため。
ひどいボールを大事そうに使用していたのがきっかけ。まずボール（使用したもの）を大量に寄付した。

学校に指導者がいないため。
出身校
選手を応援したいため。
冬期間におけるテニスコートの提供とテニス部のレベルアップに貢献。
ジュニア育成強化
テニス人口の底上げ。
自分の力が少しでも役立てばと思って。
よりよいテニスを身につけ、全国大会出場を目標にしてほしいため。
前任者からの依頼
学校が隣接していること、OBとしての支援。
学校の指導者に対する指導。
まだ表れていない(学校の先生とは交流がもてたが...)
生徒のレベルアップ

問9 部活動支援による効果「その他」の具体的な内容

スポーツ用品特にストリングの利用が増えた。
一時的には効果があったが、その後はだんだん効果がない方向になった。
物品販売に役立った。
テニス指導のため、他校の先生のテニススクール入会。
全国大会出場選手が増えた。トップレベルに近づきつつある。
中学生のクラブ部員が少しでもテニスをする上で役立った。宿泊客の中でテニスのコーチをしている人がいたので、指導してくれるよう頼んだところ、快く引き受けてくれた。生徒達もとても喜んでいた。
学生がやる気になった。
地域のジュニアの強化。生徒の人間的成長。
無償でやってる為、お金払ってスクールに来てくださってる方々への指導に気合いが入る。

問11 学校のテニス部活動支援を行いたいと思う理由「その他」の具体的な内容

生涯スポーツとしてのスタート地点。
近郊の学校で硬式テニス部が多い。
勉強のできるテニスプレーヤーを育成し、将来社会に貢献してほしい。
悪いことではないので、何でも良い。
日本人としての健康、体力、精神力、情操の豊実のため。
物品販売に役立つ。
この地域には中学校のテニス部がないので、普及したい。
テニスの先輩として、テニスの後輩が頑張ることを見るのが楽しい。
冬期間におけるテニスコートの提供とテニス部のレベルアップに貢献。
中学校公立硬式テニス部の設置への働きかけになればと思う。
中学・高校と一番テニスがうまくなる時に指導者がいないのはかわいそうすぎる。
生徒の数に対応する指導者の数を決められ、生徒は平等に公平に練習できる。また多数の生徒が同時に練習できる。

問14 学校のテニス部活動支援を実施する上での問題点「その他」の具体的な内容

15:00～18:00の時間であれば2面は会員との調整は可能。指導者は一切ノータッチ。
学校の担当者との交流があまりない。(転勤で変わることが多い)
交通手段がない。
利用時間の調整。
部活顧問の先生が支援を必要としているのかわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市内の中・高等学校に硬式テニス部がなく、最近開校した近大附属高校にやっと同好会ができ、市協会から指導者を派遣したり、セットボールを提供している。 ・当地は軟庭王国と言われ、軟庭がテニスを思っている。 ・義務教育で硬式テニスは金がかかるとのことで、また中学校に指導者がいないのも理由と思う。
学校部活指導責任者の意識、技能、対応力の不足に対して指導者自身の自覚がない。プロの力を信じていない。教職のプライドが強すぎていないか。部活にしばられている子供達が気の毒。
県内中学のテニス部は(男2,女2校)少ない。学校内に部の創設まではできない。
学校側が民間クラブの支援を拒否することがある。
指導者に対する指導料の調整。

問15 「行うつもりはない」とする理由「その他」の具体的な内容

生徒のマナーが悪かった。
地域の中学校に部活なし。
小平市、東久留米市内はテニス愛好者が多く、学校内でも盛んである。
県のテニス協会が形ばかりの指導と世の中の流れで行っても意味がない。
ジュニアクラスがないので。
赤字経営で、閉鎖を考えている。
テニスを本格的に目指すジュニアは、テニスクラブで育成すべきである。
別法人のスクール専門会社が隣接しており、そちらが対応すべきと考えている。
親会社の経営方針
経営的ゆとりなし。
教員の方は自分で指導したいと思う。

問16 部活支援にあたり(社)日本テニス事業協会に望む支援「その他」の具体的な内容

公共施設でも同様の検討をしてほしい。
野球よりも加盟校が多いテニス高体連。健全な魂を創る為にも3Kとはほど遠いスポーツ、テニスを利用すべし。平日夕方の空コートと、補助、助成金と父兄認知度アップの三位一体を期待。時期は今。
会社として税金を払い、そのお金で公共の使用料が安いテニスコートをたくさん造る。コート数の制限をうまく考えていただきたい。
公共料金が安すぎる。同じ料金では生活できない。
民間のテニス指導者を必要なときは(社)テニス事業者協会へ学校側から申し込みを受け、両者間の協定により行えばよいと思う。

<p>中学校に硬式テニスクラブを必ず設置する法律を作る。過去の指導の経験から、指導は十分できる。地方の中学校はなかなか硬式テニス部がない。中学校にテニス部をつくるようお願いしたい。</p>
<p>今までに県の協会の役員までしてテニスの発展のため、ジュニアを育成しようとしたが、協会の役員の立場または一部のテニスレベルの上の人のみに皆さんが見ていて、テニスの発展を止めている。また、公営コートがムダになっているほど増えてしまっは、民間が減少してしまう。民間の競争で育てなければ無理。</p>
<p>公立中学校では、硬式テニス部があまりなく、ソフトテニスが主流。小学生でテニスを始め、中学校でソフトテニス部に入部するケースが多い。中学校でも硬式テニス部を取り入れてもらえるよう支援してほしい。</p>
<p>中学校の中体連全国加盟。</p>
<p>資金援助、やっていけない。</p>
<p>公共との競合で民間側は料金的に不利な状況だ。ボランティア的な指導員の派遣やコートの無料開放などを強くない環境と費用負担を期待する。</p>
<p>学校のテニス部活動と、テニスクラブのジュニア育成とは本来の目的が違うと思う。当クラブは、後者に力を入れているので、その支援を望む。</p>
<p>望めない、望まない、協会に力がない。</p>
<p>中学校に関しては、近隣に硬式テニス部がなくなった。あった時にも、テニス経験のない顧問などが生徒を抱え込み、学校関係者以外との交流に理解を示さなかった。</p>
<p>中学校硬式テニス部の設置を促す。</p>
<p>学校の近くに公営コートがあれば大いに利用すべき。公営コートのない学校は民間を利用しやすくすべき。</p>
<p>テニス事業そのものが社会貢献していると認識している。硬式テニスのレベルアップには中学よりソフトテニスのみでなく、硬式テニス部を設けるべきである。</p>
<p>公共の施設及びスクールが民間経営を圧迫、またプライベートコーチの乱立があり、これらの統制が望まれる。</p>
<p>テニス部作り（硬式）への認知活動、神奈川県中学校体育連盟への硬式の参加、軟式組織側の抵抗の説得または排除。</p>